

同窓会便り

(発行人)
大西 道祥

同窓会総会開催！

六月十五日、日の出会館にて開催。四十三名が総会へ出席の回答。しかしながら、当日参加三十四名となる。和気藹々のなか議事進行し、次の議案が審議された。

- 一、事業報告、決算報告、監査報告
- 二、事業計画と予算案

- 1、学校林、修練道場視察
- 2、同窓資料室開設について
- 3、同窓の集い実行委員会構成の件

三、その他

同窓会活性化の妙案について
それぞれ審議され承認された。詳細に付いては別記報告します。記事の中を参照してください。

同期会情報

△旧中五期△

連絡先 札幌支部 楠 朋顕
東京支部 五十嵐 満

札幌支部の同期会は六月九日 定山溪・溪流荘にて。
全国同期会は東京支部が担当 九月三日 伊豆の伊東温泉にて

△一期生△

平成六年・岩見沢市
平成七年・滝川市
平成八年・幌新温泉一泊
平成九年・箱根、東京2泊
平成十年・深川市
平成十一年・定山溪温泉

と、毎年同期会を開催している。
札幌近郊在住者約三十名により「芙蓉会」(昭和二十四年卒業をもちって命名)を結成し、毎年二月二十四日に開催しており、今年は二十四人が出席して大いに歓を尽くした。

△二期生△

今年度は札幌が当番で開催予定

△三期生△
事務局 003-0023 札幌市白石区南郷通十四丁目北八十七

平成 11 年度収支決算書		
自・11・4・1 から至 12・3・31		
収入の部		
前期繰越金	290,492	
入会金	547,500	1500 × 365 名
C D / 記念誌他	28,000	
雑収入	284	利息
合計	866,276	
繰越		597,415
支出の部		
総会及事業費	109,126	
会議費	54,900	役員会
交際費	97,000	別記
通信事務費	6,575	
雑費	1,260	
合計	268,861	
別記 教職員歓迎会・饗別 77,000 香典 0		
同窓会滝川支部総会 0		
全国大会出場費別 20,000		

奥田勝重 011-862-5735
代表幹事 0640810 札幌市中央区南十条西六丁目一宮脇 敬 011-511-2799
東京支部もあり毎年同期会を開催

△六期生△

二十九年卒業なので29会(にいきゅう会)と命名して現在は毎年旅行を楽しむ
代表幹事 平田弘美↓鶴川寿美に変更

△十一期生△

今年度、還暦同期会を深川にて開催
△十二期生△
一九九八年に同期会を開催。ついに還暦を迎えるので同期会を計画。

HP 悠友倶楽部: <http://www2.big.or.jp/~yuchubu/>
△十三期生△
三十六年卒業なので36会(やぶろつ会)と命名して旧交を暖める。ML(倉山昭男) <http://www2.big.or.jp/~yuchubu/>
H十年HP開設 <http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>

△十四期生△

昨年は同期会が同じ日に開催されたため集いに参加できなかった。今年こそ・・・
△十七期生△
9月9日同期会を「同窓の集い」にあわせて板倉で開催。同窓の集いに全員参加の予定。

△十八期生△

猪子会(いのね会) <http://www.egroups.co.jp/files/inonekai>
二〇〇二年に同期会の予定。
△十九期生△
昨年三十年の同期会を開催
今年八月十三日 マザーズカントリーで野外同期会を三時から開催

△二十期生△

同窓生の要の同窓会館の建設の前段階として同窓資料室の開設の話が進んでいます。同窓生の作品や思い出の品物、記念すべき一品、特に新聞の欠けている号や、学校祭のプログラム等々先輩から後輩へ残すべき物は一杯あるのですが、現物がありません。是非寄贈していただければと思います。在校当時の文集なども楽しんでほしいと思います。是非ご協力ください。

東京で同期会を開催する
今年は八月二十日 深川ホテルで四時から同期会を開催。
△二期生△
八月十二日三十年記念同期会開催 板倉にて
△三期△
HPあり
△三期生△
昨年卒業二十年記念同期会開催

今年度の教職員の動向

△転出者△

佐々木 武先生 (体育) 東川高校へ
蒔田千恵子先生 (家庭) 旭川東高校へ
太田 雅康先生 (英語) 旭川西高校へ
長尾 亨先生 (音楽) 野幌高校へ
福原 泉先生 (家庭) 旭川東栄高校へ
山口真由美先生 (国語) 旭川南高校へ
米地 俊治先生 (英語) 札幌白陵高校へ

離任者送別会報告

2000年3月24日 深川ホテル。

開会の挨拶に引き続いて学校長による離任者一人一人のエピソードを交えた紹介。先生の人となりや先生方の思いの中に去来するものは様々ではあるけれども惜しまれつつ新しい世界に飛び込んでいくことに励ましの気持ちや皆同じようだ。離任者それぞれが共有した場所と時間のなかでフラッシュバックの瞬間をエピソードとして紹介して、又それぞれに、思いを新たにしようとした。
PTA会長から惜別の言葉と励ましの言葉が述べられて後、PTA、同窓会等から饗別の贈呈が行われ、寺岡同窓会副会長の乾杯の音頭で祝宴に入る。
惜別の高まる中、在職先生による離任者一人一人へのエール。それに答えて米地先生が離任者代表で校歌、学生の歌をバックにエールで答える。これなら赴任地でも大丈夫！
同窓会よりの我ら参加者二名も久しぶりに校歌と学生の歌を腹の底から歌ったものでした。離任される先生方の各地での活躍を期待するものであります。

△転入者△

山下 政俊先生 (家庭) 洞爺高校より
袖城 英幸先生 (音楽) 清里高校より
三谷 公先生 (体育) 旭川東栄高校より
境 利一先生 (国語) 旭川凌雲高校より
山下 元先生 (英語) 網走南ヶ丘高校より
鈴木 睦夫先生 (英語) 札幌白陵高校より
中 真知子先生 (家庭) 赤平高校より

歓迎会平成十二年四月十五日 日の出会館
大西会長が出席し懇親を深める。

各種大会結果報告

◎ 陸上部

【地区】

三千m、走高跳、砲丸投げ、槍投げ
四百mリレー 各一位選手は八名
男子総合二位・トラック優勝
女子総合三位・フィールド三位
【全道】六月二十二〜二十四 函館市予選通過者

男子・八百m 坪谷

男子・走高跳 古川

男子・百十mH 藤田

女子・槍投げ 多田

四百mR・岡田、藤田、坂本、高橋

◎ バレー部

男子【地区】

二位

女子【地区】

二位

【全道】六月十五日〜十七 旭川市ベスト8

◎ 卓球部

【地区】

団体三位 個人選W 鎌田・大路準優勝
【全道】六月十三日〜十七日 小樽市

個人選W 鎌田・大路一回戦敗退

◎ 硬式テニス部

【地区】

団体 男子二位 女子二位
個人W 加藤・生田 二位

S 渡辺二位 加藤三位

【全道】六月二十二〜二十四 帯広市

個人S 加藤・渡辺 一回戦敗退

W 加藤・生田 一回戦敗退

◎ ソフトテニス部

【地区】

団体、予選敗退 個人戦ベスト8

◎ バトミントン部

【地区】

男子団体 一回戦敗退 個人一回戦敗退
女子団体 三位 個人W ベスト8

個人S ベスト8

◎ サッカー部

【地区】

準優勝

【全道】六月十九日〜二十三日 小樽市

一回戦敗退

◎ バスケ部

【地区】

男子決勝リーグ敗退

◎ 柔道部

【地区】

七十三Kg級 吉田、優勝

六十六Kg級 高崎、二位

◎ 剣道部

【全道】

吉田、高崎一回戦敗退

◎ 函館市

吉田、高崎一回戦敗退

【地区】
個人戦 中村、二回戦敗退
塩田、一回戦敗退

弓道部
【地区】
男子団体二位 女子団体一位
女子個人 渡会二位

【全道】
六月十八日～二十一日 釧路市
団体男子予選敗退 女子 ベスト8
個人 渡会、六位

◎ 野球部
【アフロック】 二位（対滝川西に敗退）
【全国大会出場者】 今年度は該当者なし

文化部活動状況

吹奏楽局 活動中
図書局 活動中
美術部 相変わらず少数精鋭
英語部 活動中
弁論部 頑張ってる活動中
科学部 少ないながらも健闘中
茶華道部 前期が華道、後期は茶道
新聞局 部員が不在で休部
演劇部 部員が不在で休部
写真部 根強い人気で頑張ってます
放送局

【地区大会】
創作ラジオドラマ部門 優秀賞 全道へ
創作テレビドラマ部門 入賞 全道へ

【全道大会】 六月二十二～二十三 釧路市
入賞なし

活動は二学期以降に行われる予定です。また、同好会は決まった活動はありません。新聞会が休部となる事態になりました。文系の退是由々しき問題である。その時代時代で社会に対する生徒の真摯な姿勢がひたむきなあまりに進退する事もあるが、あまりにも歯抜けになってしまつては・・・と思うと将来に対して非常な危惧を抱く。社会を見つめ自分をより高めるためのもう一人の自分を育てるためにも現実を捕らまえ問題提起をするセクションがなければいけないと思う。頑張れ！新聞局 再興せよ演劇部！

学校林現状・・・

見本林・修練道場跡訪問
六月二日、真っ青な空のもと、時中央病院駐車場を出発。訪問者二名遠足にも似た気持ちで心うきうき。スキー場を過ぎて車はやがてハイキングロードへ。のどの渴きを癒した水飲み場を過ぎて一曲がり、道場へ続く道はぬかるみでここから徒歩となる。道の脇にはワラビやうど、露が目について足が進まず。今夜のおかずといひささか失敬。

ゆるいカーブで修練道場跡地に到着。きれいに竹が刈り払われて昔の石垣が良くわかる。「角材を担いでよくここまで歩いたものだ」と昔を思い浮かべて感慨しきり。記念撮影の後、学校林へ出発。道は何回も曲がっては上へ上へ。車のウタインの場所を求めて沖里河山の駐車場へ到着。ついでに数十段の階段を登って数分で頂上へ。納内から深川の町並みを眺め、暑寒別連峰や大雪山連峰、十勝連峰を遥かに望み、すっかり気を良くして下山利用。途中で学校林を確認する。後二十年ほどで利用できるようになるという。林の中に休憩所や、遊歩道があればもっと身近な存在になるのかな？などと思ふやきながら・・・昼食会場へ。思いがけぬ山菜の収穫への準備不足の反省、学校林への今後の対策、次回の再会を約束して散会する。現状は人工林から自然林へと変わりつつある

学校林の有効利用法他

遊歩道の整備などできればいいね
同窓生の自由な植林の場所の確保が出来る？
学校林所在確認の看板の設置
目印の要の巨木「湧雲の白樺」の周辺整備
他に活用法があれば連絡ください。妙案を期待します。

特別会計

収入の部		
前期繰越金	3,440,179	
地代	73,100	深川スキー場
雑収入	4,273	利息
合計	3,517,552	
支出の部		
税金	20,100	10年度
	20,100	11年度
雑費	420	
合計	40,620	
次期繰越金	3,476,932	
内訳	普通預金	1,022,127
	定期預金	500,000
	定期預金	1,954,805

同窓の集い報告

第一回 平成八年八月十四日 参加三百五十人
第二回 平成九年八月十四日 参加二百余人
第三回 平成十一年九月十八日 参加二百二十余人



学校林の唐松林

次回開催予告

「同窓の集い」を毎年、9月の第二土曜日に固定して開催をする事決定しました。今年は九月九日土曜日 午後六時三〇分 プラザホテル板倉です。多勢の参加を楽しみにしています。
こんな素敵な催しは毎年やると楽しみが薄れるから二年に一度で良いという人も居るのは事実だが、内容が毎年実行委員会のなかで企画が変わるので今後益々素敵な内容が出てくることでしょう。きつと、楽しい運営になっていくと思います。
実行委員会の構成も現状は卒業の十年サイクルと符号するので、来年以降は一気に末尾五期が実行委員会を構成することになります。五期、十五期、二十五期、三十五期、四十五期の同窓生に今からお願ひしておきます。今から内容を考えておきましょう。

△特別報告▽

竹内先生近況

老いて益々盛んといわれた竹内先生が階段からこけて足を負傷。しかし、写真に対する執念はすざましく二階にある暗室には車椅子ごと上がる階段リフトで移動して作業をしているようである。前から楽しみにしていたNHKホールでの写真個展の数日前の話である。ちなみに個展は八月四日から八日までの期間でした。是非お元氣になつてお姿拝見！といきたいところです。

△計報▽

林 太造先輩

同窓会の東京支部で長い間支部の発展の為に努力をいただいた林 太造先輩（旧中1期生）東京支部初代会長が四月死去されました。つつしんでご冥福をお祈りいたします。八期十六年にわたって関東を中心とした東京支部の発展の基礎を作られた方です。このご努力に報いるためにも同窓のつながりの火を永久に保ち続けたいものです。

同窓資料室の開設予定

前々からの懸案であった同窓資料室が俄然現実味を帯びてきた。空き教室はないが使用頻度の低い部屋を同窓会のために開放してくれるそうで、全くうれしい限りです。実現のためにさらに具体的に作業をすすめていきます。

△国政選挙報告▽

六月二十五日投票の衆議院選挙で国政を目指した同窓生は次の四名です。
旧4回生 中島武敏 東京十一区 共産党
十九回生 堀 幸光 青森一区 共産党

二十回生 横山充洋 北海道三区 自由連合
二三回生 山下貴史 北海道十区 自由民主党
同窓生から二人目の国会議員を・・・と、特に地元密着の候補として地元十区から二十三期生で幌加内出身の山下貴史君を国会に送るべく地元の同窓生の有志が集まって湧雲の会を結成。善戦空しく、彼が幼かりし頃からの故郷での強い想いを国会へ届けることが出来なかった。現在、次回への雪辱を期して奮闘中。

どろやなぎ

さて、各期の同期会が8月に集中しているようなのでそれに間に合わせるべく急いで編集した同窓便りなので羅列重視の同窓会便りになってしまいました。一万数千名の同窓の絆を結び付けるには今年の出来もありにも拙いものですが無いよりましとの気持ちは今年も全く同じですので暖かく見守ってやってください。
各期の動向にもっと力を注ぎたいのですが情報収集には時間が要求されます。7月中旬に各期の動向がわかる方法がないかと模索中です。幸いネット上では若い世代が飛び交っていて案外活躍してくれそうな気がしますので、期待したいところです。

▽ 紅葉の訪れもうすぐです。やがて秋色に染まる事でしょう。そう言えば同窓会で校庭に記念植樹をしたチューリップツリーもやっと一本だけ大きくなってきました。後、同年で花を咲かせるのが楽しみです。開校当時植えられたどろやなぎが役割を終え、思い出のなかに残るのみとなっていますが、学校林や修練道場なども風化させまいと保存維持につとめています。

▽ 今年は大西会長の十七期が同窓の集いに合わせて同期会を開くそうです。全員が同窓の集いに参加して、終わってから、別室で同期の旧交を温めるそうです。各期とも色々な企画のなかで同期会が行われ、それにつれ同窓会にもかわってきています。集いに合わせて疎遠な同期と顔を合わせる期も有ります。様々な企画で利用されていて大変参考になります。ただ残念なことは同期のつながりをもつ機会のない期があることです。是非誰かがご足労を願って開催されることを願ってやみません。

▽ 同じ催しを続けていく事は大変ですが、マンネリにならず変化を持たせながら同窓の営みを続けていく事が出来ればと思ひながら・・・
特に各期の幹事さんに感謝っっっ。

西高校の紹介ネット

http://yubidoma.sphere.ne.jp/

現在登録者 206 名
是非登録して同窓の輪を広げましょう

連絡先 074-0011
深川市緑町一番五号

溝口信義

TEL-0164-22-4543
e-mail: mizonobu@nifty.com

事務局